

SASB基準を参照した「リスク・機会」

<リスク>

事業セグメント	項目	リスク	バリューチェーン	対応策	開示場所
宝酒造 宝酒造インターナショナル グループ	環境	原材料価格の上昇によるコストの増加	上流	・サプライヤーの分散化	TCFDフレームワークに基づく開示 宝ホールディングス株式会社
		水調達コストの増加	上流	・生産工程での水使用量の削減、節水設備の導入	環境 宝ホールディングス株式会社
		GHG排出規制(カーボンプライシング等)対応コストの増加	上流・自社	・高効率ガスボイラー等の省エネ設備の導入 ・重油からLNGへの燃料転換 ・再生可能エネルギーの導入 ・再生可能エネルギー由来の電力購入	環境 宝ホールディングス株式会社
		操業反対や取水制限による生産量の減少に伴う収益の低下	上流・自社	・環境に配慮した製品パッケージの採用 ・水リスクの評価	環境 宝ホールディングス株式会社
		リサイクル規制への対応または不対応に伴う風評悪化によるコストの増加	自社・下流	・環境に配慮した製品パッケージの採用	環境 宝ホールディングス株式会社
		燃料価格変動によるコストの増加	上流・自社・下流	・フェリーや鉄道などへのモーダルシフト ・消費地生産	環境 宝ホールディングス株式会社
	社会	差別関連訴訟への対応コストの増加	自社	・労働関係法令の遵守 ・人権デューデリジェンスプロセスの実施 ・ハラスメント防止への取り組み	人権 宝ホールディングス株式会社
		低賃金に起因するストライキ・労働紛争対応コストの増加	自社	・労働関係法令の遵守 ・長時間労働の防止	人権 宝ホールディングス株式会社
		食品安全問題発生時の対応コストの増加	上流・自社・下流	・食品安全に関する認証取得推進 ・海外の食品安全法規情報の把握と遵守	安全・安心 宝ホールディングス株式会社
		誤認表示による評判低下および訴訟対応コストの増加	自社・下流	・責任あるマーケティングの実施	酒類メーカーとしての責任 宝ホールディングス株式会社
		成分・表示規制違反に伴う罰則・訴訟対応コストの増加	自社・下流	・商品表示および広告・宣伝に関する法令等の遵守	酒類メーカーとしての責任 宝ホールディングス株式会社
		サプライヤーのサステナ問題に起因する評判低下による収益の減少	上流	・調達先へのガイドラインの遵守要請 ・新規・既存サプライヤーのリスク評価 ・サプライヤーの工場監査 ・サプライヤーの分散化	調達 宝ホールディングス株式会社
		酒税引上げ・規制強化・訴訟・風評被害への対応コストの増加	自社・下流	・ウェブサイトや冊子による啓発 ・責任ある広告の実施 ・商品表示における配慮 ・WHOアルコール世界戦略の尊重	酒類メーカーとしての責任 宝ホールディングス株式会社
	ガバナンス	顧客情報漏えいによる信頼低下に伴う収益の減少	自社	・クライシスマネジメント（有事のリスク管理）の推進	コーポレート・ガバナンス 経営方針 宝ホールディングス株式会社
タカラバイオグループ	環境	大気・水質汚染物質の漏洩に伴う罰則および防止対策コストの増加	自社	・水質汚濁の防止	環境 マテリアリティ サステナビリティ タカラバイオ株式会社
		事故による火災または化学物質漏洩に伴う損害コストの発生	自社	・クライシスマネジメント（有事のリスク管理）の推進	コーポレート・ガバナンス 経営方針 宝ホールディングス株式会社
	社会	化学製品に対する規制強化による需要の減少	上流・自社・下流	・品質マネジメントシステム（ISO9001ほか）の維持 ・GMP/GCTP等の各種品質・製造・安全基準 ・第三者認証制度への適合・維持	安全 マテリアリティ サステナビリティ タカラバイオ株式会社
		労働災害に伴う訴訟および業務中断による費用の発生	自社	・快適な職場環境とワークライフバランスの実現 ・職場の安全衛生確保	人財 マテリアリティ サステナビリティ タカラバイオ株式会社
		製品の副作用または故障に伴うリコールおよび訴訟対応コストの増加	自社・下流	・品質マネジメントシステム（ISO9001ほか）の維持 ・GMP/GCTP等の各種品質・製造・安全基準 ・第三者認証制度への適合・維持	安全 マテリアリティ サステナビリティ タカラバイオ株式会社
	ガバナンス	規制や消費者動向の把握不足による販売機会の消失	自社・下流	・ライフサイエンス分野における多様な製品とサービスの提供	健康 マテリアリティ サステナビリティ タカラバイオ株式会社
		重要原材料の供給停止に伴う収益の減少	上流	・調達先へのガイドラインの遵守要請 ・サプライヤーの分散化	調達 マテリアリティ サステナビリティ タカラバイオ株式会社

< 機会 >

事業セグメント	項目	機会	バリューチェーン	取り組み	取り組みの参照元
宝酒造 宝酒造インターナショナル グループ	環境	水管理の改善による運用コストの減少	自社	・生産工程での用水使用量の削減、節水設備の導入	環境 宝ホールディングス株式会社
	社会	健康志向製品の提供による収益の増加	自社・下流	・糖質ゼロ、糖質オフ製品の開発 ・料理清酒の食塩ゼロ訴求 ・オーガニック、ビーガン、食物アレルギー対応食品等の提供	健康 宝ホールディングス株式会社
タカラバイオグループ	環境	有害廃棄物の発生抑制およびリサイクル推進による規制コストの回避	自社	・品質マネジメントシステム（ISO9001ほか）の維持 ・GMP/GCTPに準拠した品質管理体制の継続	安全 マテリアリティ サステナビリティ タカラバイオ株式会社
		省エネルギーおよび低排出製品の開発に伴う競争力強化による収益の増加	自社	・世界各地の特性や需要に合わせたグローバルな製品開発	健康 マテリアリティ サステナビリティ タカラバイオ株式会社
	社会	安全な労働環境の整備による生産性の向上	自社	・職場の安全衛生確保	人財 マテリアリティ サステナビリティ タカラバイオ株式会社
	ガバナンス	製造プロセス管理の強化による事故リスクの低減	自社	・職場の安全衛生確保	人財 マテリアリティ サステナビリティ タカラバイオ株式会社
		GMO製品の推進国・地域への参入による売上増加	自社・下流	・新製品・新サービスの開発 ・グローバルな供給網を通じた販売	健康 マテリアリティ サステナビリティ タカラバイオ株式会社